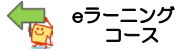


# 5月 開講 求職者支援訓練のご案内

※これから雇用保険受給手続きをされる方は、令和7年5月2日までに手続きください。

訓練コース番号	5-07-47-002-02-0007	コース名	( ) 基礎 ( ) ( ✓ ) 実践 ( 02IT分野 )
訓練科名	Java・Pythonプログラミング科 (eラーニングA)		
募集期間	令和7年3月17日(月)	～	令和7年4月14日(月)
初回訓練相談締切日	令和7年4月11日(金)	※左記の日までに、ハローワークで相談を受けないと受講の申し込みができませんのでご注意ください。	

◆◆◆キャリアコンサルティングを受けることが必要なため、ハローワークへはお早めに来所して下さい。◆◆◆

科目	科目の内容	訓練時間	
学科	各種行事	開講式、オリエンテーション (各1時間)	
	就職支援	履歴書・職務経歴書作成指導、ジョブ・カード作成指導、面接指導	6時間
	安全衛生	情報機器作業と安全衛生	2時間
	IT基礎	システム開発の工程 自社開発・受託開発・SESの概要 課題解決型のマインドと構造的な思考アプローチ	19時間
修了式	訓練終了後の説明、修了証書授与、修了の挨拶 (1時間)		
実践内容	Webデザイン演習	HTMLを用いたWebページの作成 CSSを用いたWebページのデザイン JavaScriptを用いたWebページの作成	21時間
	Javaプログラミング基礎	Javaの基本構文を使ったプログラミングの実施 Javaのオブジェクト指向を使ったプログラミングの実施 Javaの標準APIを使ったプログラミングの実施	86時間
	Javaプログラミング実践	MVCを使ったプログラミングの実施 Javaを用いたWebアプリケーションの作成 DAOを用いたデータベース連携	85時間
	Pythonプログラミング基礎	基本的な変数とコレクションを使ったプログラミングの実施 基本的な条件分岐、繰り返し処理などの制御文を使ったプログラミングの実施 Python特有の処理を使ったプログラミングの実施	85時間
	Pythonプログラミング実践	応用的なアルゴリズムのプログラミングの実施 応用的なコレクション、制御構文の使い方の実践	85時間
	データベース基礎	データの登録、変更、削除、取得の実施 テーブルの結合と作成の実施 トランザクション管理の実施	43時間
	ソフトウェア開発演習	ソフトウェアの設計の実践演習 自分で作成した設計書をもとにしたコーディングの実施 完成したソフトウェアのテストの実施	85時間
	( ) 職場体験 ( ○ ) 職業人講話 ( ) 職場見学 ( ) その他	【職業人講話】「IT業界で働く人の現場の声」講師:株式会社Sola.com 社員	6時間

※ 開講式・オリエンテーション、修了式、対面指導、就職支援及びキャリアコンサルティングは日時を定めて実施されます。  
(通信【同時双方向型】又は通所により実施)  
※ 1週間に1回(1時間)以上対面指導の受講が必要です。  
※ 対面指導は祝日に実施される場合もございます。

訓練期間	令和7年5月13日(火)	～	令和7年11月12日(水)	募集定員	12名																				
総訓練時間	523時間																								
訓練対象者の条件	<p>【eラーニングコース共通】※次のいずれかに該当する方</p> <p>(1)小学生以下の子又は中学生以上の障がい児を養育する方や、配偶者・父母・子・配偶者の父母等を介護する方</p> <p>(2)居住地域に訓練実施機関がないことにより職業訓練の受講が困難な方</p> <p>(3)複数の事業所で雇用される方や、不安定な就業状態にある方(期間の定めのある労働者、短時間労働者、派遣労働者といったいわゆる非正規雇用労働者)等、訓練の受講にあたって特に配慮を必要とする在職の方</p> <p>※通信による受講に必要な下記の設備やインターネット接続環境等を用意し、実施時に適切な接続ができること。</p> <p>【本訓練コース向け】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PC(Windows10以上、Mac/Linux不可)とインターネット環境をご用意できる方。</li> <li>・パソコンの基本操作(タッチタイピング基礎、Officeソフトの基本操作)ができる方。</li> </ul>																								
訓練目標(仕上がり像)	基本的なプログラミング言語の仕組みをJava、Pythonなど主要な言語で学び、ソフトウェアの改修、設計など実務に活かせる能力を身につける。																								
訓練修了後に取得できる資格	<table border="0"> <tr> <td>名称 ( Python3エンジニア認定基礎試験 )</td> <td>認定機関 ( 一般社団法人Pythonエンジニア育成推進協会 )</td> <td>( ✓ ) 任意受験</td> <td>取得費用 ( 11,000円 )</td> </tr> <tr> <td>名称 ( 基本情報技術者試験 )</td> <td>認定機関 ( 独立行政法人情報処理推進機構 )</td> <td>( ✓ ) 任意受験</td> <td>取得費用 ( 7,500円 )</td> </tr> <tr> <td>名称 ( CompTIA A+ )</td> <td>認定機関 ( CompTIA Japan )</td> <td>( ✓ ) 任意受験</td> <td>取得費用 ( 32,740円 )</td> </tr> <tr> <td>名称 ( CompTIA Cloud Essentials+ )</td> <td>認定機関 ( CompTIA Japan )</td> <td>( ✓ ) 任意受験</td> <td>取得費用 ( 11,142円 )</td> </tr> <tr> <td>名称 ( Oracle Certified Java Programmer, Silver SE 11 )</td> <td>認定機関 ( Oracle University Japan )</td> <td>( ✓ ) 任意受験</td> <td>取得費用 ( 37,730円 )</td> </tr> </table>					名称 ( Python3エンジニア認定基礎試験 )	認定機関 ( 一般社団法人Pythonエンジニア育成推進協会 )	( ✓ ) 任意受験	取得費用 ( 11,000円 )	名称 ( 基本情報技術者試験 )	認定機関 ( 独立行政法人情報処理推進機構 )	( ✓ ) 任意受験	取得費用 ( 7,500円 )	名称 ( CompTIA A+ )	認定機関 ( CompTIA Japan )	( ✓ ) 任意受験	取得費用 ( 32,740円 )	名称 ( CompTIA Cloud Essentials+ )	認定機関 ( CompTIA Japan )	( ✓ ) 任意受験	取得費用 ( 11,142円 )	名称 ( Oracle Certified Java Programmer, Silver SE 11 )	認定機関 ( Oracle University Japan )	( ✓ ) 任意受験	取得費用 ( 37,730円 )
名称 ( Python3エンジニア認定基礎試験 )	認定機関 ( 一般社団法人Pythonエンジニア育成推進協会 )	( ✓ ) 任意受験	取得費用 ( 11,000円 )																						
名称 ( 基本情報技術者試験 )	認定機関 ( 独立行政法人情報処理推進機構 )	( ✓ ) 任意受験	取得費用 ( 7,500円 )																						
名称 ( CompTIA A+ )	認定機関 ( CompTIA Japan )	( ✓ ) 任意受験	取得費用 ( 32,740円 )																						
名称 ( CompTIA Cloud Essentials+ )	認定機関 ( CompTIA Japan )	( ✓ ) 任意受験	取得費用 ( 11,142円 )																						
名称 ( Oracle Certified Java Programmer, Silver SE 11 )	認定機関 ( Oracle University Japan )	( ✓ ) 任意受験	取得費用 ( 37,730円 )																						
自己負担額	教科書代等	【教科書代】 14,740円 【その他】 ( )	計	14,740円																					
その他費用																									
通信による受講に係る費用	①設備及びインターネット接続環境	( ○ ) 受講者が用意 ( 自己負担 ) ( ) 貸出あり ( 有料 : ( ) 円 ) ( ) 貸出あり ( 無料 )	②通信費	( ○ ) 受講者負担 ( ) 実施機関負担																					

※上記に記載する費用はすべて税込金額となっています。

# Java・Python プログラミング科 (eラーニング)

安心して受講していただけるように訓練生それぞれの習熟度をチェックし、習得状況の把握に務め、親身に対応します。

基本的なプログラミングの仕組みをJava,Pythonなど主要言語で学習、ソフトウェアの改修、設計など実務に活かせる能力を身につけ、システムエンジニア、プログラマーなど開発現場・プロジェクトにおいて活躍する能力を習得でき、ITSSレベル1以上の資格取得を目指します。

就職に役立つスキルを学んでIT業界へ！

このコースは、DX推進スキル標準(経済産業省及び独立行政法人情報処理推進機構(IPA)が策定)対応の訓練コースです


※訓練受講にあたりその他ご不明点は、下記の連絡先へお問い合わせください。

※選考日の前日までにeラーニングコースの「受講に関する誓約書」を提出する必要があるため、提出されない場合は選考を受けることができませんのでご注意ください。(誓約書は受講申込受付後、訓練実施機関より送付します。)

選考日	令和7年4月21日(月)	選考方法	筆記 (Googleフォーム) ・面接 (Zoom) で受験
時間	選考時間は後日メールにてお知らせします。	選考内容	(✓) 面接 (✓) 筆記試験
持ち物	オンライン対応ができるパソコンまたはタブレット		(✓) その他 (パソコン操作などの実技試験)
選考場所の住所	オンラインによる受験	選考結果通知日	令和7年4月25日(金)

訓練実施機関名	株式会社ソラコムサイテック	訓練実施施設名	SCTポリテクニク・カレッジ沖縄校
訓練実施施設の住所 (受講申込書提出先)	〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎2丁目3-8 ロイヤルハイツ泉崎 303号		
担当者名	ペギー・タン、古川(コガワ)	メールアドレス	<a href="mailto:sct.polycolle@gmail.com">sct.polycolle@gmail.com</a> 応募時に①氏名②訓練コース番号を明記の上、テストメールを送付ください。
TEL番号	022-226-7025	FAX番号	022-774-2709
同時双方向型による訓練実施時	【パソコン機器等推奨環境】CPU:デュアルコア2Ghz以上(Core i3やRyzen 3等) メモリ:4GB以上 (カメラ・マイク機能は必須) 【インターネット接続環境等】訓練を支障なく実施できる速度が必要(目安として上り下りの双方で実測値が1.5Mbps以上)		

## 求職者支援訓練について

求職者支援制度対象者	1) ハローワークに求職申込をしている特定求職者の方。 2) 受講開始日より遡って過去1年間に求職者支援訓練の実践コース又は公共職業訓練を受講していない方。 3) 訓練受講の措置が必要と安定所長が認める方、お仕事に就ける状態にある方、申込条件を満たす方。	
応募方法	原則として、住所地を管轄するハローワークで、求職申込を行い職業相談を受けてからハローワークの受付印を受けた「受講申込書」を募集期間内に郵送又は持参により訓練実施施設まで提出して下さい。なお、主として沖縄県内の別のハローワークで求職活動を行う方は、受講申込みまでにハローワークにご相談下さい。	
職業訓練受講給付金	特定求職者の方が、ハローワークの支援指示を受けて求職者支援訓練を受講し、一定の要件を満たせば、職業訓練受講給付金が支給される場合があります。	厚生労働省 求職者支援制度のご案内 
その他	1) 受講申込者が少ない場合は訓練を中止する場合があります。 2) 応募状況については、訓練実施施設へ直接お問い合わせ下さい。 3) ハローワークでの相談の結果、訓練への申込ができない場合があります。	